

基礎・境界 ソサイエティ

ニュース レター

September 2001 No.35



The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

目 次

- 基礎・境界ソサイエティ活性化 WG の活動 <築山 修治 (中大)> 1
- 2001 年 基礎・境界ソサイエティ大会 企画 案内 3
- 開催案内 フェロー受賞記念講演会 <池口 徹 (埼玉大)> 4
- 開催案内 NOLTA2001 <佐藤 茂雄 (東北大) > 4
- 開催案内 SITA2001 <田中 初一 (神戸大) > 5
- 研究会案内 5
- 関連行事カレンダー 7
- 論文誌特集号カレンダー 7

< これまで >

昨年度より、各ソサイエティでは、ソサイエティ活性化策を検討しています。これは、ソサイエティ予算の多くが論文、研究会、大会などの大口事業に向けられ、新たな施策を立案・実施するようにはなっていないことを考慮し、学会本部にソサイエティ活性化基金が創設されたためです。この基金は、ソサイエティが新企画を実施するための基金ですが、内容的には支払総額・期限が限定された使い切りのお金です。従って、新企画は基金が無くなったら終了するものか、継続するための収入が確保されるものかのいずれかでなければなりません。ソサイエティを活性化するための施策で、ソサイエティが認めたものであれば、どのようなものにもこの基金を利用することができますが、既存の国際会議等の補助に使うことは、原則としてできません。それは、この基金の目的が活性化であり、現状を変えるものであるべきだからです。施策の例として挙げられたものには、(1) 会員増強、(2) ソサイエティ大会の活性化、(3) 英文論文誌の充実、(4) 国際会議の活性化、(5) 特別講演会等があります。

< 今年度計画 >

前年度、小澤時典前事業担当副会長をリーダーとする基礎・境界ソサイエティ活性化 WG において、この件が討議されました。その結果、本ソサイエティでは、若手研究者・学生の活動を活発化することを主眼とし、以下の独自計画を実行することが、理事会において承認されています。

[1] 4 ソサイエティおよび国際委員会合同の計画

1-1. 論文の電子化

過去5年分の和英論文誌を CD-ROM 化。
(英文論文誌は全て CD-ROM 化完了)

1-2. 英文論文誌の海外大学図書館への寄贈

学会誌・英文論文誌をとりあえず1年分寄贈。

[2] 基礎・境界ソサイエティ独自の計画

2-1. 出前講演会

2-2. 大会での講演会特別企画

2-3. マルチメディア CD-ROM 付和文論文誌発行

2-4. 大会での英語セッション創設

2-5. 英文論文誌を国際会議で無料配布

独自計画について簡単に説明します。

2-1. 出前講演会

これは、若手研究者や学生・大学院生に、本学会ならびに本ソサイエティの活動に興味を持って貰うことを目的に、最新技術を分かり易く紹介するものです。昨年度末に、各研究専門委員会から講師のご推薦を頂き、シーズ確保の目途が立ちましたので、7月に、各学生会支部に対してこのような講演会のニーズがあるかを調査しました。直ちに、数件の依頼がありましたので、今年度中に幾つかの出前講演会を開催できることでしょうか。各研究専門委員会には、講師の推薦や派遣のお願いをすることになりますので、ご協力お願いします。また、講演会の開催依頼などありましたら、大槻事業担当幹事 (ohtsuki@ee.noda.sut.ac.jp) までお申し出下さい。

2-2. 大会での講演会特別企画

9月のソサイエティ大会時には、伊理正夫先生(中大)に「研究者の役割と研究姿勢—地理情報システム(GIS)研究を通して—」と題して、若手研究者向けにお話頂くことになりました。この特別企画では、通常の学会では話を聞く機会が無いような講演者に依頼することも考えています。こんな人の話を聞いてみたい、あるいは若手研究者に聞かせてやりたいということがありましたら、中野大会担当幹事 (nakano@ie.niigata-u.ac.jp) までご提案下さい。

2-3. マルチメディア CD-ROM 付和文論文誌発行

平成14年10月号での特集号企画「デジタルデータ付き論文特集」となる予定です。紙媒体に加えてデジタルデータを添付することにより、論文の新規性・有用性・信頼性のいずれかが格段に向上するものを集めたものにするとのことで、Call for Papers は会誌・

論文誌 10月号に掲載されています。学会ホームページでもご覧になれます。

2-4. 大会での英語セッション創設

この企画は、The Int. Conf. on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences of IEICE (ICFS 2002) という国際会議として、実現されることになりました。この国際会議は、2002 年度総合大会期間中の 3 月 27 日 28 日に、大会と同じ会場（早稲田大）で開催されます。会誌 9 月号「ソサイエティのページ」もご覧下さい。（<http://www.ieice.org/ess/ESS/icfs2002/>）

2-5. 英文論文誌を国際会議で無料配布

これは、基礎・境界ソサイエティが主催共催する国際会議等において、英文論文誌を無料配布し、同時に学会登録申請用紙も配布して、留学生および海外会員を獲得を図ろうという企画です。各研究専門委員会から、配布したい英文論文誌の特集号と国際会議のご提案を頂きましたので、順次実行して行く予定です。なお、現在、会員になるためには、推薦者の署名が必要ですが、これに関しては、会議主催者のどなたかが推薦者になって頂く方向で検討しています。また、国際会議の登録料を支払って海外会員になられた方には、1 年間分の会費をこの基金から補填することも検討しています。

< これから >

上記の事業には既に予算も付いていますので、今年度実行します。これらの中には、今後も引き続き行う

ことにより、効果が現れるものもあるため、それらは次年度以降も行うことになるかもしれません。しかし、それら以外にも、ソサイエティ活動が停滞することなく、進化していくためには、まだまだできることがありそうです。

前年度案のキーワードは、海外、若手研究者、マルチメディアでした。これらの組合せを会員増強・新企画という観点から見たとき生まれた施策が上記のものだと言えます。今年度は、新たなキーワードとして何を付加すべきでしょうか。インターネットやネットワーク社会というキーワードを付け加えると、直ちに何か思いつきそうです。本年度の第 1 回活性化 WG においては、英語版 News Letter の発行などを含む国際化の一層の推進、Web 利用の促進とその充実などが出てきています。今後これらについて議論して行きますので、会員の皆様も、何か良い案を思いつかれましてらご提案下さい。

一方、環境、バイオ、ナノテクノロジーといった 21 世紀のキーワードを付け加えてみると、どのような活性化策が出てくるでしょうか。おそらく、ソサイエティが活性化されているときには、会員が新たな活動を起こすことが容易で、今流行の構造改革が自然に進んで行くのでしょうか。すなわち、活性化とは、現体制を変えることになるとしても、ソサイエティ全体がダイナミックに自己変革し続けて行くことなのだと思います。基礎・境界ソサイエティが新しいソサイエティを生み出すソサイエティであることを考えると、21 世紀のキーワードなどが核になって、新たな活動の芽が生まれるようであれば、活性化基金を活用して応援したいものです。皆様からの積極的なご提案をお待ちしています（tsuki@elect.chuo-u.ac.jp）

2001年 基礎・境界ソサイエティ大会 企画 案内

電気通信大学(東京都調布市)において9月18日(火)~21日(金)の4日間の日程で開催される標記大会において、基礎・境界ソサイエティでは次の企画(7月末日現在)を催します。

ソサイエティ特別企画

KA - 1. 大学・学校ネットワークの運用指針と情報倫理教育

9月18日 13:00~16:30

座長: 石崎靖敏(情報文化と倫理研究会委員長)

講演者: 三島健稔(埼玉大), 中西通雄(阪大), 越智貢(広島大), 高橋郁夫(福島県弁護士会), 他1名

KAD-1. 障害者、高齢者が参加しやすいIT化社会

(ISSとHCG・福祉情報工学研専の共催)

9月18日 13:00~17:00

座長: 市川 薫(千葉大), 太田 茂(川崎医療福祉大), 畑岡信夫(日立) 基調講演: (1) JF. Coughlin(MIT), (2) 関根千佳(ユードット)

パネル討論

PA - 1. 大学の研究をどのように産業界に活かすか?

9月19日 13:00~16:00

座長: 小澤時典(STARC)

パネラー: 飯塚哲哉(サインエレクトロニクス), 岩田 穆(広島大), 小野寺秀俊(京大), 川本洋(北九州市産業学術振興機構), 中村行宏(京大)

PA - 2. 精度保証付き数値計算とその最近のトピックス

PA - 3. 最先端実装電子 SI 技術とその基盤技術~先端高密度半導体パッケージと光電気実装~

9月18日 13:00~17:30

招待チュートリアル講演: 仲田周次(阪大)

パネラー: 春日壽夫(NEC), 高橋邦明(東芝), 若林 猛(IEP テクノロジーズ), 石野正和(技術研究組合), 松澤昭(松下電器), 増原利明(技術研究組合)

PA - 4. スペクトル拡散技術はポスト IMT - 2000 の本命か

9月19日 13:00~16:30

座長: 山里敬也(名大)

パネラー: 佐和橋衛(NTTドコモ), 篠永英之(KDDI研), 梅比良正弘(NTT), 芹澤睦(東芝)

PA - 5. 暗号技術の評価基準・規格標準化

9月21日 13:00~15:45

座長: 館林誠(松下電器)

パネラー: 河村信一(東芝), 松井充(三菱電機), 小林鉄太郎(NTT), 戸叶秀晴(CRYPTEC事務局), 櫻井幸一(九大)

PA - 6. 21世紀のコンカレント技術

9月19日 午後

PA - 7. ITSのコア技術と先進サービスの中間報告

チュートリアル講演

TA - 1. IT革命のバックボーンとしての情報理論とその応用

TA - 2. 次世代ネットワークを支える高信頼光デバイス技術

9月19日 13:00~14:00

座長: 生岩量久(NHK)

講演者: 東盛裕一(NTT)

TA - 3. 侵入防止と安全確保(一般公開、聴講無料)

9月20日 9:30~11:50

座長: 鈴木喜久(電子情報通信学会)

講演者: 鈴木隆雄(池上通信機), 斉藤博(ホーチキ), 伊東亨(美和ロック), 佐取朗(セコム)

平成12年度フェロー記念講演

9月19日 10:30~12:00

座長: 鹿毛哲郎(富士通研)

講演者: 小澤孝夫(竜谷大), 吉田典可(広島市立大)

フェロー受賞記念講演会

池口徹 (埼玉大)

回路とシステム研究専門委員会, 非線形問題研究専門委員会合同のフェロー受賞記念講演会を下記のように開催致します。

日時: 平成 13 年 10 月 28 日 (日) 13:00 ~ 18:00
場所: 蔵王ロイヤルホテル, 宮城県刈田郡蔵王町
招待講演者 (五十音順), 講演題目:

伊理正夫先生:
「最小二乗法に対する新しい視点」

篠田庄司先生:
「電気通信の誕生史と今後の移動情報通信技術の高機能化の波と流れ」

西哲生先生:
「トランジスタ回路の解の個数について」

森真作先生:
「カオス発振器・発振器の相互同期現象」

本講演会后, 同会場において国際シンポジウム NOLTA2001 が開催されます。

開催案内

NOLTA2001

佐藤茂雄 (東北大)

2001 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications (略称: NOLTA2001) を以下のように開催する予定です。多くの方々の参加を歓迎いたします。

日時: 平成 13 年 10 月 28 日 (日) ~ 11 月 1 日 (木)

場所: 蔵王ロイヤルホテル, 宮城県刈田郡蔵王町

概要: 以下の分野に関連した非線形理論とその応用に関する国際シンポジウムです。

Chaos & Bifurcation, Application of Chaos, Controlling Chaos, Synchronization, Oscillation, Chua's Circuits, Neural Networks, Cellular Neural Networks, Chaotic Neural Networks, Neuro Dynamics, Modeling & Simulation, Self-Validating Numerics, Numerical Methods, Optimization, Evolutionary Computation, Circuits & Systems, Analog/Digital ICs, Distributed Networks, Power Systems, Large-Scale Networks, Complex Systems, Learning & Memory, Image & Signal Processing, Prediction & Identification, Communications, Mobile Communications, Multimedia Communications, Fuzzy, Fractals, Control, Optics, Soliton, Biocybernetics, Economics, Applied Mathematics, Chemistry & Physics

一般及び特別セッションでは 200 件程度の講演を予定しています。また招待講演者は, Y. Sawada (Tohoku Inst. Tech.), W. Schwarz (Tech. Univ. Dresden), S. M. Rump (Tech. Univ. Hamburg-Harburg), S. Amari (RIKEN), H. Hayashi (Kyusu Inst. Tech.), L. Edelstein-Keshet (UBC), A. L. Barabasi (Univ. Notre Dame), H. Takayasu (SONY CSL) の方々です。10/28(日)の午後には同会場にてフェロー受賞記念講演会が開催されます。

詳細な情報につきましては, ホームページ <http://www.nakajima.riec.tohoku.ac.jp/nolta2001/> をご覧ください。

また, 本学会英文論文誌で NOLTA2000 に関連した小特集を以下のような日程で企画しています。

発行年月: 2002 年 10 月号 (2002 年 10 月 1 日発行)

投稿締切: 2001 年 12 月 20 日 (予定)

この小特集では NOLTA2001 で発表された論文からの投稿を期待しますが, それ以外の投稿も歓迎します。

第 24 回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2001)

田中初一 (神戸大学)

下記の要領で SITA2001 を開催致します。多数の方々の御参加及び論文発表をお待ちしております。なお、申込み方法、必要書類、宿泊等の詳細については下記の SITA2001 事務局ホームページを御覧下さい。

日時: 平成 13 年 12 月 4 日 (火) ~ 7 日 (金)

(12 月 4 日は電子情報通信学会情報理論研究会を開催予定)

場所: 神戸国際会議場

神戸市中央区港島中町 6-9-1

JR 三ノ宮駅からポートライナー: 市民広場駅下車で 10 分

TEL: 078-302-5200 FAX: 078-302-6485

ホームページ <http://www.exd.city.kobe.jp/kcva/>

分野:

情報理論基礎, シヤノン理論, 符号理論, 情報源符号化, 通信路符号化, データ圧縮, 符号化変調, 情報理論応用, 暗号, 情報セキュリティ, 系列, 確率過程, 画像・音声処理, 通信方式, 信号処理, 情報ネットワーク, 光通信理論, スペクトル拡散通信, ニュー

ラルネットワーク, 記録素子用の符号化・信号処理, 量子情報理論, 量子符号・暗号, その他

参加・発表申込締切: 9 月 17 日 (月)

最終原稿締切: 10 月 10 日 (水)

問合せ:

〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学工学部電気電子工学科

田中研究室内 SITA2001 事務局 桑門秀典

TEL: 078-803-6095, FAX: 078-803-6095

E-mail: sita2001@pubs3.eeddept.kobe-u.ac.jp

ホームページ:

<http://www.es3.eeddept.kobe-u.ac.jp/sita2001/>

主催: 情報理論とその応用学会

共催: 電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ情報通信基礎サブソサイエティ (IT, ISEC, SST, ITS 各研究専門委員会)

IEEE Information Theory Society, Japan Chapter

研究会案内

研究会	予定	発表申込連絡先
回路とシステム (CAS)	9/6-7 (神戸大), 11/26-27 (新潟) CST 共催、情処アルゴリズム連続開催 [9/10], 1/30-2/1 (熊本)「一般」電気学会電子回路連続開催, 3 月 (徳島) CS・DSP 共催, ! (研究会ホームページ上で受け付けております) http://www.ieice.org/ess/cas	藤澤久典 (富士通研) fujisawa@flab.fujitsu.co.jp
情報理論 (IT)	9/14 長岡技科大 (申込締切済), 11 月 四国支部 (申込締切 2001 年 8 月もしくは 9 月下旬), 12/4 神戸国際会議場 (招待講演, SITA2001 共催) http://www.kmb.info.gifu-u.ac.jp/it/index.html	西島利尚 (法政大) tnishi@k.hosei.ac.jp 大濱靖匡 (九大) oohama@csce.kyushu-u.ac.jp
信頼性 (R)	9/14 (機械振興会館), 10/19 (九州大学), 11/16 (大阪: 中央電気倶楽部), 12/21 (機械振興会館), 2/15 (静岡大), 3/22 (機械振興会館) http://www.ieice.org/~r/	柳 繁 (防衛大) shigeru@nda.ac.jp 陶山貢市 (東京商船大) suyama@icp.tosho-u.ac.jp
超音波 (US)	9/25-26 (東北工業大学), 10/23 (湘南工科大学), 11 月 (金沢大学), 12/20 (電気通信大学), 1/24-25 同志社大学, 2 月 千葉大学 http://www.ieice.org/~us/	野村徹 (芝浦工大) nomurat@sic.shibaura-it.ac.jp 橋本研也 (千葉大) ken@sawlab.te.chiba-u.ac.jp

(次ページへ続く)

応用音響 (EA)	9/28 (機械振興会館): 一般 (申込締切済), 10/25-26 (信州大学工学部): 一般 (申込締切済), 11/29-30 (福山大学): 一般 (申込締切 9/18), 12/21 (機械振興会館): 一般 (申込締切 10/18), 1/24-25 (同志社大学): 一般: 超音波と共催 (申込締切 11/13), 3/29 (機械振興会館): 一般 (申込締切 1/18)	岩城正和 (NHK 放送技術研究所) iwaki@strl.nhk.or.jp
http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/asj/EA/index-j.html		
非線形問題 (NLP)	9/6-7 (神戸大学), 10月 休会 (NOLTA 蔵王)	池口徹 (埼玉大) tohru@nls.ics.saitama-u.ac.jp 早川美德 (東北大) hida@cmpt.phys.tohoku.ac.jp
http://www.sat.t.u-tokyo.ac.jp/seminar/nlp.html		
VLSI 設計技術 (VLD)	9/27-28 (機械振興会館) 「プロセス・デバイス・回路シミュレーションおよび一般」, 11/28-30 (北九州) 「デザインガイア」, 1月 (未定) 「FPGA とその応用および一般」, 3月上旬 (沖縄) 「システムオンシリコン設計技術ならびにこれを活用した VLSI」, ! WWW 受け付けを http://www-ise2.ise.eng.osaka-u.ac.jp/vld/apply/ に開設しました.	石浦菜岐佐 (阪大) vld-apply@fortune.ise.eng.osaka-u.ac.jp
http://www-ise2.ise.eng.osaka-u.ac.jp/vld/		
情報セキュリティ (ISEC)	9/17 東京 (機械振興会館) [発表申込締切済], 11/8-9 (北陸先端大) [発表申込締切済], 12/17 東京 (機械振興会館) [発表申込締切 10/20 予定], 3月下旬 (茨城大)	満保雅浩 (東北大学) manbow@ecip.tohoku.ac.jp
http://grampus.jaist.ac.jp:8080/isec/		
デジタル信号処理 (DSP)	9/27-28 (名古屋大) 「音声信号処理、DSP」(SP と共催) [発表申込締切済], 10/25-26 (東北大) 「プロセッサ、DSP および画像処理 LSI、一般」(ICD、IE と共催), 11/7-9 (休会) 【DSP シンポジウム】(石垣市), 1/10-11 (熊本大) (SAT, RCS 共催), ! (研究会ホームページを申し込みに御利用ください.)	飯國洋二 (大阪大学) iiguni@comm.eng.osaka-u.ac.jp
http://www.tkhm.elec.keio.ac.jp/dsp/dsp.html		
スペクトル拡散 (SST)	10/26 機械振興会館 [申込締切済], 12月 佐賀大 [申込締切 10/19], 2月 (YRP), 3月 (茨城大)	山里敬也 (名古屋大) yamazato@nuee.nagoya-u.ac.jp
http://www.ieice.org/~sst		
コンカレント工学 (CST)	11月下旬 (新潟大)	高橋 (東工大) koji@ee.titech.ac.jp
http://www.ieice.org/~cst		
思考と言語 (TL)	10月 (名大, 共催), 12月 (大分県立芸術文化短大, 発表申込締切 10月), 3/14-15 (東京工科大, 共催)	亀田弘之 (東京工科大) kameda@cc.teu.ac.jp
http://www.pluto.ai.kyutech.ac.jp/TL/		
情報文化と倫理 (FACE)	10/19 (京都工繊大) テーマ (一般), 12月 (NTT ドコモ) テーマ (一般), 3月 (千葉大) テーマ (一般)	
http://www.ice.dj.kit.ac.jp/face/		
高度交通システム (ITS)	9/13 (大阪・中央電気倶楽部), 11/28 (機械振興会館), 3月上旬 (未定), 3月中旬 (茨城大)	水井潔 (関東学院大) mizui@kanto-gakuin.ac.jp
http://www.com.elec.mie-u.ac.jp/ITS/		
安全性 (SSS)	11/2 交通関係の安全性 (発表申込締切 9/15)	佐藤吉信 (東京商船大) yoshi@ipc.tosho-u.ac.jp
http://earth.ic.kanagawa-it.ac.jp/anzen/		

関連行事カレンダー

2001 年	
10月18日 ~19日	<p>SASIMI 2001 (於 奈良)</p> <p>投稿締切 終了</p> <p>連絡先</p> <p>email: sasimi2001@info.waka.kindai.ac.jp</p> <p>http://wonder2.aist-nara.ac.jp/SASIMI2001/</p>
10月28日 ~11月1日	<p>NOLTA 2001 (於 Miyagi Zao Royal Hotel, Miyagi, Japan)</p> <p>2001 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications</p> <p>投稿締切 終了</p> <p>連絡先 web をごらんください.</p> <p>http://www.nakajima.riec.tohoku.ac.jp/nolta2001/submit/</p>
12月4日 ~7日	<p>SITA2001 (於 神戸国際会議場)</p> <p>情報理論とその応用シンポジウム</p> <p>投稿締切 9月1日 野田bb@HwTILAbbEP-g:fs!eVXw6Al60fCflXbbdU1Gs63dH41!ubGw0</p> <p>連絡先 桑門秀典</p> <p>email: sita2001@pubs3.eedept.kobe-u.ac.jp</p> <p>http://www.es3.eedept.kobe-u.ac.jp/sita2001/</p>

§ 被参爵存 菊 表

今年も猛暑が続いていますが、本号をお届けする頃には、少し過ごしやすくなっているでしょうか？これから秋に向けてますます研究活動に力が入る時期かと思います。ソサイエティの活動をさらにアクティブにするために、皆様の御意見を、onoye@kuee.kyoto-u.ac.jp までお寄せください。ニューズレター掲載のための情報・記事なども歓迎しております。

(尾上孝雄)

平成 13 年度 基礎・境界ソサイエティ誌編集委員会

委員長 石井 六哉 (横浜国大)

委員 荒川 薫 (明大) 井家上 哲史 (明大) 池原 雅章 (慶大) 石浦 菜岐佐 (阪大)
伊藤 和人 (埼玉大) 乾 健太郎 (九工大) 鎌田 一雄 (宇都宮大) 鎌田 賢 (茨城大)
木村 晋二 (奈良先端大) 鈴木 喜久 (東京工芸大) 都木 徹 (NHK 技研) 田村 裕 (新潟工大)
中田 広 (NTT) 牧野 光則 (中大) 山崎 浩一 (玉川大)

幹事 尾上 孝雄 (京大) 真田幸俊 (慶大)
onoye@kuee.kyoto-u.ac.jp sanada@elec.keio.ac.jp